

都市再生整備計画(第2回変更)

池田地区

徳島県 三好市

平成22年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(交通・交流拠点相互間のアクセスの向上)</p> <p>・スポーツや文化・会議の拠点となっている「三好市池田総合体育館」から中心市街地やJR阿波池田駅への歩行者のアクセス向上と安全確保及び交通渋滞の緩和が重要なポイントであり、導線を整備することによる交流拠点相互間の交流人口拡大を目指す。</p>	<p>・道路事業(基幹事業／市道西矢塚線、市道中通線)</p> <p>・まちづくり活動推進事業(提案事業／通行量等調査)</p>
<p>整備方針2(観光客、買い物客の誘導及び周遊ルートの整備)</p> <p>・地区内の観光地間を魅力ある周遊コースとして整備を行う。</p> <p>・区域内道路について、地域別カラー舗装整備をおこない、特色のある地域振興施策を展開する。</p>	<p>・高質空間形成施設(基幹事業／本町線・東矢塚上野線・中通線・弥生線・北条坂線・上野柳川線・杉尾線・栄町線)</p> <p>・地域創造支援事業(提案事業／マップ作成事業)</p>
<p>整備方針3(歩行者の安全性の向上)</p> <p>・地区内道路の整備を行うことにより、歩行者の安全性の向上を図り、安全・安心・快適なまちづくりを目指す。</p>	<p>・高質空間形成施設(基幹事業／本町線・東矢塚上野線・中通線・弥生線・北条坂線・上野柳川線・杉尾線・栄町線)</p>
<p>その他</p> <p>○三好市交流拠点整備計画の活用</p> <p>平成18年3月に合併し、三好市となり、同地区内(総合体育館横)にある工業施設跡地が有効利用されるよう検討委員会が発足している。この交流拠点整備計画書とともに地域の再生を図り、目標達成を目指す。</p> <p>○環境美化推進事業</p> <p>商店街・地区住民団体或いは女性連絡協議会等を中心に花作り活動や、アドプト活動、ピオトープへの取り組みが活発化しつつあり、本事業による「周遊探索ルート」の整備と合わせて、前回の計画に引き続き「花いっぱい運動」を再構築しながら、都市環境の美化に努める。</p> <p>○中心商店街の空き店舗活用事業</p> <p>商店街・商工会議所と連携しながら、中心市街地活性化基本計画の策定に取り組む。また空き店舗についても、住民の健康相談所や観光客・買い物客の憩いの場となるような施設として利用できるよう積極的に取り組んでいく。</p> <p>○区域内の散策マップ作成</p> <p>区域内にある公共施設や歴史的まちなみ、公園、商店街等を解り易く散策できるためのマップを作成する。</p> <p>○各種イベントの開催</p> <p>商店街・商工会でのイベントや季節ごとのイベント(さくら祭り)等の継続開催により、地域活性化を図る。</p>	

都市再生整備計画の区域

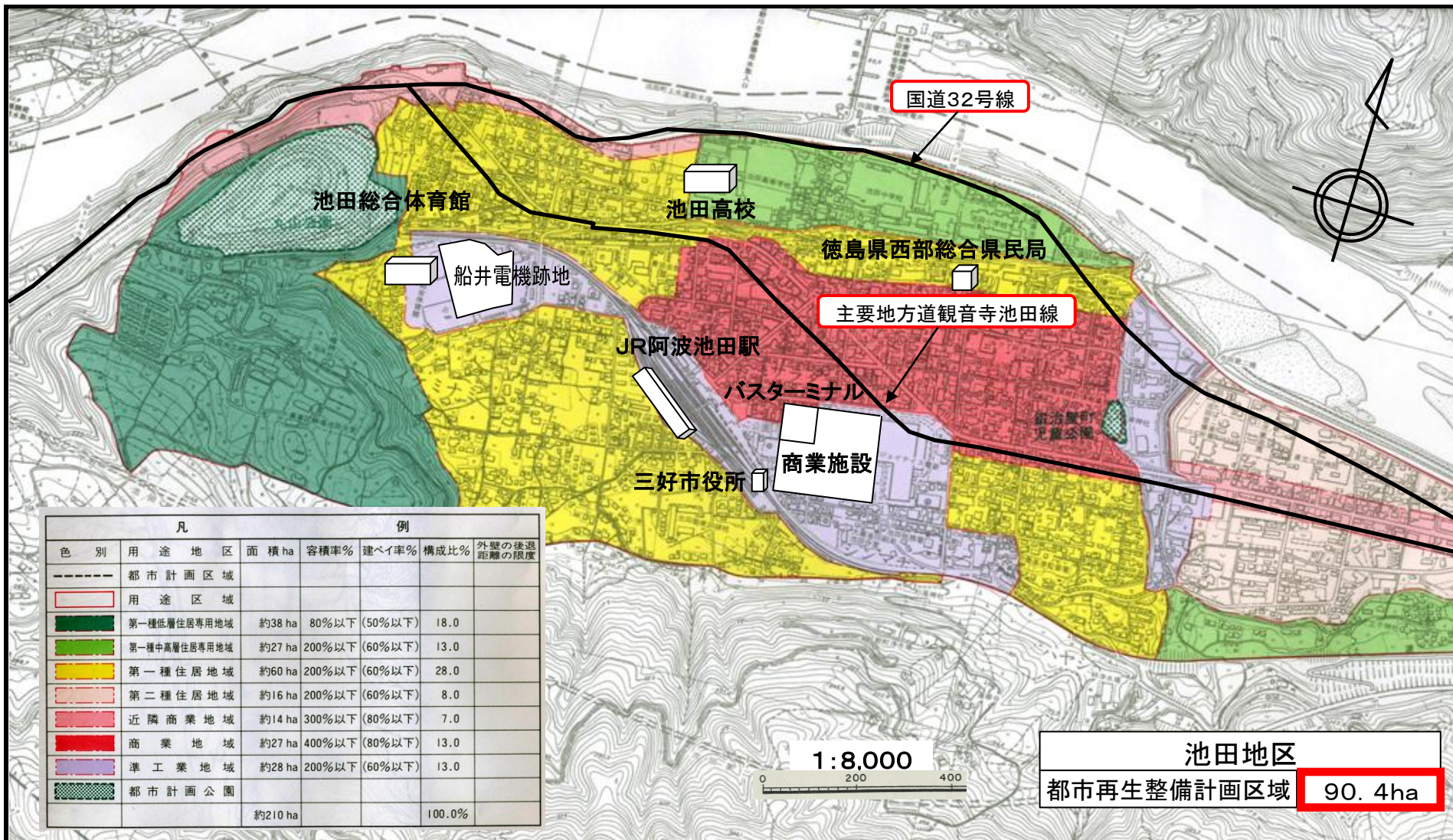
池田地区(徳島県三好市)

面積

90.4ha

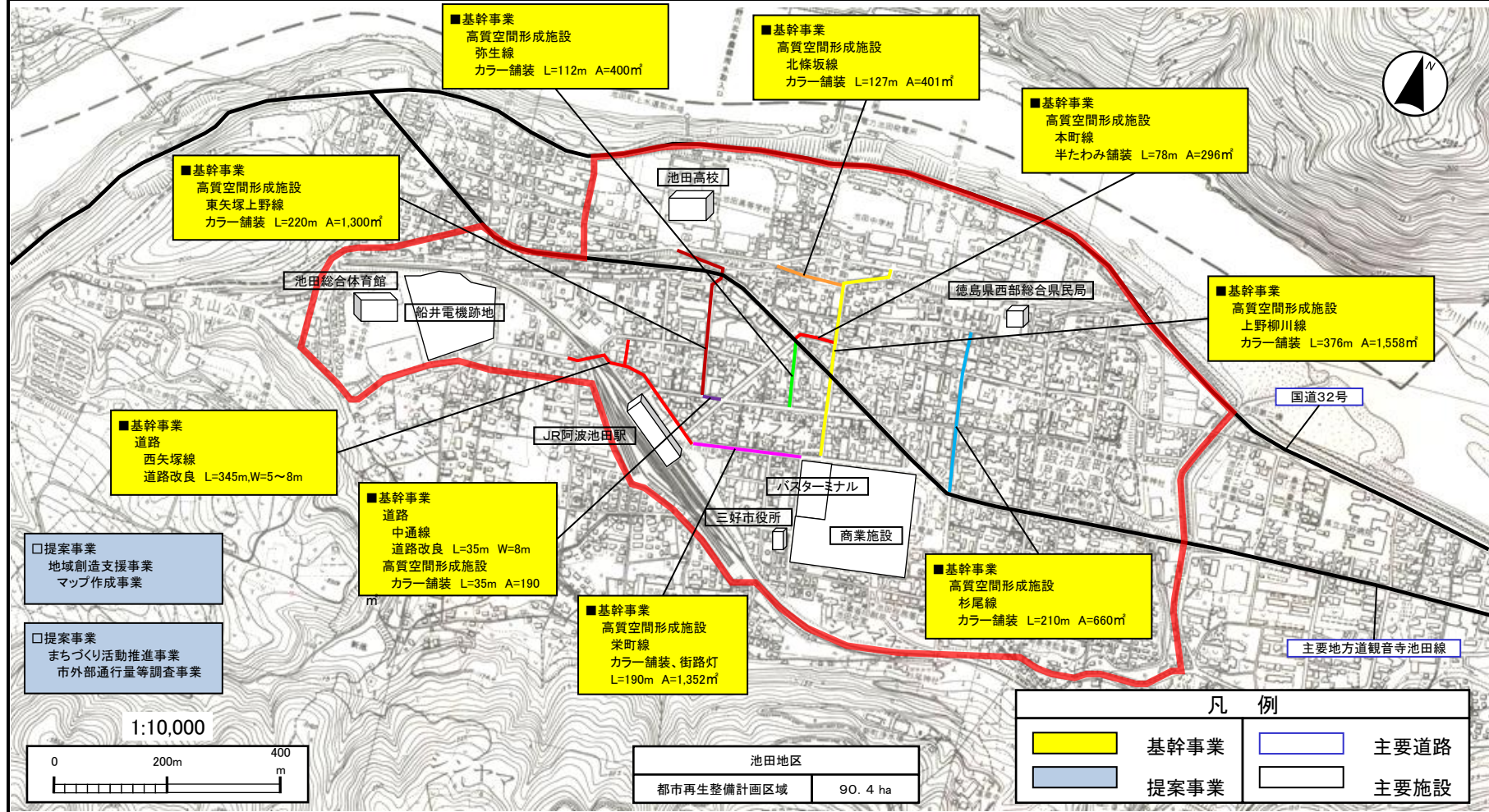
区域

池田町ウエノ、マチ、サラダ、シンマチ、イケミナミの一部



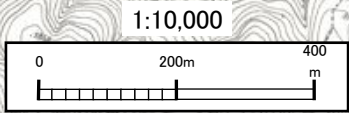
池田地区(徳島県三好市) 整備方針概要図

目標	観光・交流・地域振興を高め、中心市街地の活性化を図る。	代表的な指標	商業年間販売額 (百万円)	32,033 (H16年度)	→	32,000 (H23年度)
			中心商店街空き店舗数 (軒)	48 (H18年度)	→	40 (H23年度)
			総合体育館利用者数 (人)	70,000 (H17年度)	→	77,000 (H23年度)



□ 提案事業
地域創造支援事業
マップ作成事業

□ 提案事業
まちづくり活動推進事業
市外部通行量等調査事業



凡 例	
	■ 基幹事業
	□ 提案事業
	▭ 主要道路
	▭ 主要施設